

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。
2021年3月から6月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】2021年3月～6月

【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数88社、回答率73.3%)

【DI値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②) / 全体数 × 100 - (④+⑤) / 全体数 × 100でDIを算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

問1 今期の貴社の状況は、昨年の同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうか。



2021年3月から6月におけるDI値は、新型コロナウイルス感染症の影響により、売上額、収益、今後の売上見込みなどがすべての業種で昨年同期と同様にマイナスとなっているが、中でも、観光サービス業の売上額（全体）は▲60ポイントと依然高い水準で推移している。また、いずれの業種においても、売上額（全体）がかなり減少と回答された企業が5社以上あり、その中でも50%以上減少と回答された企業は13企業となっており、業種によっては80%以上減少と回答された企業があった。

仕入原価については▲24.7ポイントと前回調査（1月から2月）に比べて厳しい状況にあり、現在直面している経営上の問題点にも仕入価格の上昇を挙げられる企業が多くなっている。

今後の売上見込についても、かなり減少とやや減少と回答された企業が54企業もあり、全体の占める割合が61.3%と新型コロナウイルス感染症の影響により先行きも見通せない厳しい状況が、依然として続くことを危惧されていることがうかがえる。

設備投資については、全業種で増加しており、補助金活用や各種協力金・支援金等の受給に伴う節税対策も要因の一つと考えられる。



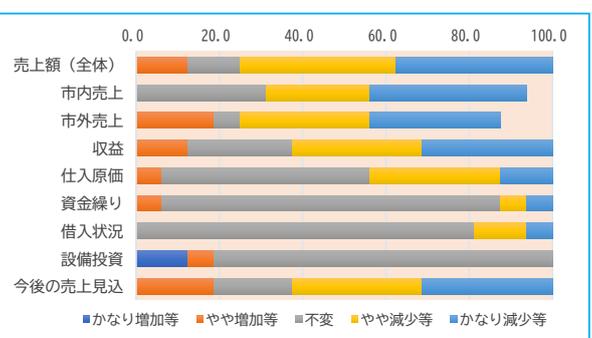
建設業においては、全体の売上額がDI値▲36.1ポイントと急激に減少しており、中には40%、70%の減少と回答された企業もあった。また、元請工事は公共工事、民間工事とも前回調査（1月から2月）に比べ悪化し50%、70%の減少と回答された企業がある半面、下請け工事は23.3ポイント増加している。今後の売上見込みについては、前年同期と同様▲36.1ポイントという結果になった。



小売業においては、売上高、収益とも緩やかな回復がみられるものの、依然DI値▲33.3ポイント、▲31.0ポイントと厳しい状態が続いている。売上額についてはかなり減少と回答された企業が6社あり、中には50%から70%の減少と回答された企業もあった。また、借入状況については前回調査（1月から2月）に比べ▲4.2ポイントとなり、全体的にみても依然厳しい結果となっている。

* 最近の売れ筋傾向等：高齢者向け弁当・惣菜、焼き干物の通販、免疫力向上商品、ストレス・不眠などの対策商品

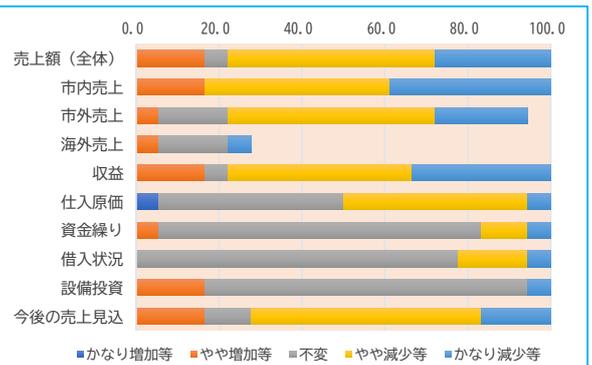
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	2	2	6	6	減少	▲ 50.0
市内売上	増加	0	0	5	4	6	減少	▲ 53.3
市外売上	増加	0	3	1	5	5	減少	▲ 42.9
収益	増加	0	2	4	5	5	減少	▲ 40.6
仕入原価	低下	0	1	8	5	2	上昇	▲ 25.0
資金繰り	好転	0	1	13	1	1	悪化	▲ 6.3
借入状況	減少	0	0	13	2	1	増加	▲ 12.5
設備投資	増加	2	1	13	0	0	減少	▲ 15.6
今後の売上見込	増加	0	3	3	5	5	減少	▲ 37.5



*市内売上なし1件、市外売上なし2件

卸売業においては、全ての項目でDI値マイナスとなっているが、特に昨年同期と比較して市内売上▲6.2ポイント、仕入原価▲22.1ポイントと特に厳しく、売上額についてかなり減少と回答された企業のうち60%、70%の減少と回答された企業もあった。しかしながら、今後の売上見込みについては昨年同期・前回調査比から+12.5ポイントとなっている。

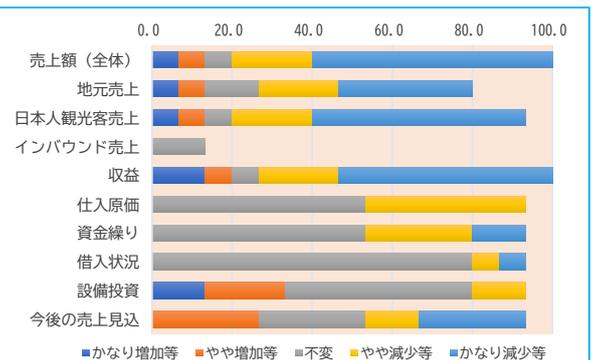
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	3	1	9	5	減少	▲ 44.4
市内売上	増加	0	3	0	8	7	減少	▲ 52.8
市外売上	増加	0	1	3	9	4	減少	▲ 47.1
海外売上	増加	0	1	3	0	1	減少	▲ 10.0
収益	増加	0	3	1	8	6	減少	▲ 47.2
仕入原価	低下	1	0	8	8	1	上昇	▲ 22.2
資金繰り	好転	0	1	14	2	1	悪化	▲ 8.3
借入状況	減少	0	0	14	3	1	増加	▲ 13.9
設備投資	増加	0	3	14	0	1	減少	▲ 2.8
今後の売上見込	増加	0	3	2	10	3	減少	▲ 36.1



*市外売上なし1件、海外売上なし13件

製造業においては、売上額(全体)が昨年同期と比較しDI値+12.3ポイントとなっている他、収益+9.5ポイント、今後の売上見込+30.6ポイントとなっている。しかしその反面、売上額について50%以上減少と回答された企業が2社あった。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	1	1	3	9	減少	▲ 60.0
地元売上	増加	1	1	2	3	5	減少	▲ 41.7
日本人観光客売上	増加	1	1	1	3	8	減少	▲ 57.1
インバウンド売上	増加	0	0	2	0	0	減少	▲ 0.0
収益	増加	2	1	1	3	8	減少	▲ 46.7
仕入原価	低下	0	0	8	6	0	上昇	▲ 21.4
資金繰り	好転	0	0	8	4	2	悪化	▲ 28.6
借入状況	減少	0	0	12	1	1	増加	▲ 10.7
設備投資	増加	2	3	7	2	0	減少	▲ 17.9
今後の売上見込	増加	0	4	4	2	4	減少	▲ 21.4



*地元売上なし3件、日本人観光客売上なし1件、インバウンド売上なし13件

観光サービス業においては、売上額(全体)が昨年同期と比較しDI値+31.2ポイントとなっているが、かなり減少と回答された企業の中には、70%、80%の減少と回答された企業もあった。また、地元売上、日本人観光客売上についても50%から80%の減少と回答とされた企業があり、依然新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けていることがうかがえる。

問2 現在直面している経営上の問題点(新型コロナウイルス感染症含む)についてお答えください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	9	17	13	12	12	63
②資金繰り悪化	1	6	2	1	5	15
③雇用問題	9	3	5	3	6	26
④仕入価格上昇	7	3	6	6	4	26
⑤店舗等の休業		2	3	1	5	11
⑥取引先の休業や廃業	2	3	4	5	1	15
⑦製品等の配送・納期の遅れ	1	1			1	3
⑧原材料・商品仕入の遅れ	2	1			2	5
⑨その他	1	2	1	2	1	7

*その他:《建設業》原材料の供給不足 《小売業》客数の減少 ・ ガソリン仕入上昇 《卸売業》ウッドショックによる影響
《製造業》漁獲量は不変でも、緊急事態宣言等の影響により低い値段で取引されている ・ 観光客の売上減少 《観光サービス業》材料費UP

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①金融支援	1	2	3	2	3	11
②国、府、市等の給付金	7	9	9	11	13	49
③税の減免	8	8	9	3	9	37
④雇用対策	5	1	3	4	1	14
⑤感染症対策	1	2	1	4	1	9
⑥補助金・助成金	6	8	5	10	10	39
⑦その他		1			2	3

*その他:《小売業》病院の充実
《観光サービス業》コロナ対策の緩和 ・ 20時以降の酒取り扱い店舗に限らず、昼営業の店舗でも売上が減少しているので支援金を考えていただきたい
ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。